

ボランティアセンター NEWS

出前講座レポート

青森市立戸山中学校の生徒さんがボランティア出前講座で「車いす、高齢者疑似、視覚障がい者体験」を実施しました！

青森市立戸山中学校で実施されたボランティア出前講座では「車いす、高齢者疑似体験、視覚障がい者疑似体験」が実施されました。介助者と介助される側に分かれて体験し、高齢者や障がいのある方が普段どのようなことが大変なのか、また介助する人はどのような事に気を付ければよいのか学んでいただきました。体験を終えた生徒さんからは「疑似体験を通して、高齢者の気持ちを感じることが出来ました。これからは、今よりも高齢者の方をいたわろうと思います」「車いすの方や高齢者の気持ちを考えることが出来たので、それを活かして困っている人がいたら助けたいです」という感想をいただきました。今回、学んだ事をぜひ、身近なところで活かしていただければと思います。



青森県立青森南高等学校の生徒さんがフィールドワーク活動のためボランティアセンターで意見交換をしました！

「総合的な探求の時間」フィールドワーク活動ということで、自分たちで考えたテーマに沿って、考えた課題に対しての情報収集として、ボランティアセンターへ訪問されました。ひとり暮らし高齢者が引きこもりにならないよう、外に出てもらうきっかけとなるような活動を自分たちで考えたいということで、ボランティアセンターで行っている活動、現在のボランティア活動現状について質問がありました。「高齢者と関わる上で必要なことはあるのか」「ボランティアを行っている人はどの位いるのか」「自分たちもグループでボランティア登録をすればすぐに活動できるのか」など積極的な意見交換の場となりました。ぜひ、みなさんで話し合った活動を実現していただきたいと思います。



◆フィールドワークとは…
研究者が研究対象を直接観察し、聞き取り調査等を行い、研究する手法。



青森大学 社会学部 教授 柏谷 至 氏

講師プロフィール
専門は、環境社会学。現在のテーマは「森林資源を活用した地域活性化」。環境・まちづくりに関する講演・ワークショップの開催、特定非営利活動法人グリーンエネルギー青森 理事長、一般社団法人 七和まちづくりネットワーク「七和薪循環プロジェクト」で活動。

青森市内のボランティア団体を対象に、青森大学社会学部 柏谷先生を講師に迎え、「ボランティア活動の活性化に向けて」をテーマに研修会を開催しました。グループに分かれてそれぞれが抱えるボランティアの悩みやその悩みに対して、どのようにしたら良いかお互いに意見を出し合いながらグループディスカッションを行いました。「所属するコミュニティに若い人がいない為、どのようにアプローチしたらよいかわからない」「自分たちの団体は講習を受ける必要があるため新規希望者が簡単に参加出来ず難しい」など、抱えている悩みを普段はあまり関りが無い他の分野で活動する方達と意見交換をしていました。研修を終えた方からは「悩んでいたことが解決に向けていけそうです」という感想があり、有意義な研修が出来たようでした。柏谷先生、ありがとうございました。



ボランティア活動の情報発信 についたらいいな

令和6年9月13日実施
「ボランティア活動の活性化に向けて」

うなぎの老舗 川よし様による福祉施設への慰問活動

うなぎの老舗 川よし様による「うな重」を振舞う慰問活動が軽費老人ホーム「和幸園」で行われました。川よし様は1972年から毎年、市内の福祉施設で慰問活動を行っており、今年で56回目となります。入居者の方は、一口ずつじっくりと味わいながら、「おいしい！どうもごちそうさまでした」と笑顔がこぼれていました。松崎社長は「今後も、うな重の振る舞いを続け、多くの人を笑顔にしたいと思います」とお話されていました。川よし様、あたたかい善意ありがとうございます。



◆川よし
住所：青森市本町3-2-4
TEL：(017) 776-3480



社会保険労務士 葛西 周吾 氏

講師プロフィール
青森市内の社会福祉施設に勤務。その後、社会保険労務士事務所に転職。平成18年に社会保険労務士試験合格、平成21年に独立開業。青森県内企業の労務管理に関する相談・助言、労働基準監督署等の調査対応、就業規則その他社内規程の整備、研修講師などを行っている。社会福祉法人あーと理事長。

今年度の民間福祉施設職員研修会は、市内の民間福祉施設の方々に参加し「ハラスメント」について、特定社会保険労務士 葛西 周吾氏を講師にお迎えし、実施しました。ハラスメントは年々、種類が増えており現在180種類以上にのぼっているという事で、人それぞれの感覚の違いがハラスメントの要素になっているという事で、参加者からは「カスタマーハラスメントについて、対策を取ろうと思った。感覚の違いがあることを理解し、伝え方、対応に気を付けたい」という意見がありました。今後も研修等を開催し、常にハラスメント対策をアップデートして、働きやすい職場環境を築いていくことが必要になると感じました。また、2025年度ボランティア説明会では、来年度の体験ボランティア活動について募集要項のホームページ掲載方法についてなどお話しさせていただきます。多くのボランティアが活動できるようボランティア募集掲載のご協力をよろしくお願いいたします。



令和6年12月5日実施
令和6年度民間福祉施設職員研修会
並びに2025年度体験ボランティア説明会

青森市ボランティアアドバイザー連絡会

デイサービスセンターにおいて使用済み切手収集ボランティア活動を行いました！

ボランティア活動啓発と地域貢献活動を行っている「青森市ボランティアアドバイザー連絡会」のメンバーが中央デイサービスセンターにおいて、慈善団体へ送付をしている使用済み切手収集ボランティア活動をデイサービスセンターの利用者さんで行いました。利用者さんはボランティアアドバイザーのアドバイスのもと、手先の訓練も兼ねて仕分け作業を行い、「色々な切手があるのねえ」「使い終わった切手が人の役に立つとは知らなかったわ」など、ボランティアアドバイザーのメンバーと楽しそうに談笑しながら作業をされていました。ご協力、ありがとうございました。



仕分けを終えた使用済み切手は、慈善団体へ送付しており、切手収集家へ転売されます。換金された資金はアジア・アフリカ・中東の人々の暮らしを守る活動へ役立てられます。

体験ボランティアは皆様のご協賛により運営されています

プロクレアホールディングス
青森銀行

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
建設機械のリースと運搬
(有)三本木貨物運送

大青工業株式会社
〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-30
TEL:017-738-2131 FAX:017-738-9333

企業の皆様、ありがとうございます

ボランティア研修会を実施しました！



体験ボランティア

「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に、そして楽しく参加できる」体験学習として青森市ボランティアセンターが実施している2024体験ボランティア「社会の役に立ちたい」「視野を広げたい」「ボランティア活動に興味はあるけど、どうしたらいいの？」などお考えの方！まずは、ボランティア登録をして体験ボランティアから始めてみましょう！



ボランティア募集中

青森市ボランティアセンター 検索

パソコン操作の苦手な方は、ボランティアセンター窓口で登録・申込みが出来ますので、お気軽にお問合せください。

青森市内の高等学校生徒・大学生・短大生・専門学生は、実施期間中に「体験ボランティア」の活動メニューを行うことで、1回の活動に付き1ポイント獲得できます。5ポイント獲得した方は、ポイントカードを青森市社会福祉協議会窓口へ提出することで図書カード(1,000円相当)を差し上げております。

参加お申込みについては、青森市ボランティアセンターホームページ、または窓口にて受付しております。

ボランティア団体紹介

青森市ボランティアセンターには、様々な活動をしているボランティア団体が登録をしています。どんな活動をしているのかお話を聞きながら活動の一部をご紹介します！

ボランティア登録団体「ワン・ニャンを愛する会」

青森市を中心に犬猫の保護活動、動物愛護の精神、終生・適正飼養を普及させるための啓発活動を行っている「ワン・ニャンを愛する会」。

毎月1回開催されている譲渡会は、様々な境遇から保護をされた犬、猫が新しい家族を見つけ幸せになれるよう行われています。譲渡会では、10~12名程のスタッフがボランティアとして運営に携わっており、譲渡会の運営以外に譲渡会に参加できるよう人慣れ、トイレトレーニングなどを自宅で行ってるスタッフもいます。代表者の敦賀さんは「まずは、人の目に触れて、知ってもらうことが大事だから」とホームページ、Xなどで活動情報を発信されていますが、「SNSで活動を紹介しているけど、若い人と違って文章が思い浮かばなくて難しいですね」と苦戦しながらも情報発信を行っているそうです。猫の寿命は長くて20年。

引き取りを希望されても高齢者世帯の場合は、飼い主に何かあった場合、まわりで代わりに育てることが出来る人がいるかなど、いくつかの条件のもとで譲渡しているそうです。行政からも引き取り手のいないペットの相談などがあるそうで、今回の取材を通し、改めて飼う側もただ可愛いからと安易に飼うのではなく、動物の命を預かることに対する責任と覚悟をもってほしいと感じました。



県民生協 八重田店で開催されている譲渡会のようす



親子で保護をされた猫



「ワン・ニャンを愛する会」ホームページはこちらから

QRコードから団体のホームページをご覧いただけます！また、Xでも活動報告や情報提供を行っておりますので是非、ご覧ください。

災害ボランティア活動レポート

令和6年7月25日以降の大雨により被災した山形県酒田市の災害ボランティアセンターの運営支援として、青森市社会福祉協議会の職員が派遣されました。



オリエンテーション時の様子。災害ボランティアセンターとして最後の週末ということもあり県内在住者を中心に121名のボランティアが参加



【活動実績】10/24 ~ 10/27				
活動日	ボランティア受入れ人数	マッチング件数	新規ニーズ受付件数	残ニーズ件数
10月24日(木)	28名	2件	0件	23件
10月25日(金)	99名	6件	3件	21件
10月26日(土)	121名	8件	0件	20件
10月27日(日)	95名	8件	1件	17件

7月の大雨災害では3カ所の地域で浸水・土砂等による災害が発生し、10月現在で被害規模が大きかった八幡地区に災害ボランティアセンターの拠点が置かれ活動が継続されています。同地区の山間に囲まれた集落が、川の氾濫や土砂崩れにより民家や田畑が大きな被害を受けていました。私が従事した期間は、被害発生から約3ヵ月経った時期でしたが、土砂により使えなくなった家財類、家屋や小屋、田畑などの泥だし作業が残っていました。災害ボランティアセンターが10月末で毎日活動型から週末活動型へと運営方針が変更される時期に運営支援に携わり、収束に向けてニーズの取りこぼしがないか再調査に力を入れていました。10月最後の週末となるとボランティアの人数は金・土・日で酒田市内の方や山形県内の方を中心に90名を超える参加者となっていました。酒田光陵高校の生徒さんが参加した日に、依頼主宅の裏庭の泥だし作業の現場を担当する機会があり、面積もあって1日で終わらせることができるか微妙でしたが、高校生の若さと体力が躍動し、1日で作業を完了することができ依頼主の安堵の表情を見て、人の役に立てるボランティア活動の素晴らしさを再確認させられました。また、他の現場では、社会人グループが見事なチームワークと連携を発揮し、男性は重い家財の運搬、女性は災害ゴミの仕分けや狭い場所の泥だしなどを効率的に行っていました。グループをまとめ上げるリーダーは技術職の方で作業現場を主戦場として働く男性でした。作業中の安全確保の指示も含め、現場作業の知識・経験のある方が災害ボランティアに参加することで驚くほど作業スピードが上がることを実感しました。

今回の活動支援を通じて、ボランティアで訪れる方々が、被災した地域の1日も早い復興を願い、継続的に活動されている姿に感銘を受けるとともに、災害ボランティア活動はボランティアの方々の真心により支えられていることを改めて認識させられました。自然災害が頻発する昨今、明日は我が身と捉え災害に対し備えつつ、支え合いの心で被災した地域にも目を向け、自分のことをできる範囲で行動に移していくことが、これからも大切なことだと感じました。



土砂による被害が大きく被災から約3ヵ月経った今もニーズが継続されている北青沢地区の状況。川には山から流れてきた流木が撤去されずに残っています。

芸能ボランティア活動

慰問ボランティア「ボランティアサークルやすらぎ」



歌、踊り、手品と様々な芸を披露し、観た人を楽しませてくれる「ボランティアサークルやすらぎ」の皆さん。代表者の一戸さんの歌をはじめ、参加されたメンバーの華麗な踊りと歌声で観客を魅了していました。

慰問ボランティア「マリー・カンタービレ」



コーラスグループ「マリー・カンタービレ」の皆さんによる慰問活動では、観覧されている方も一緒に歌って楽しめるように代表の高田さんが歌詞カードを配布され、一緒に歌える曲を披露されるなど、どんなことをしたら観ている方たちが楽しめるか工夫を凝らしながら活動をされています。